

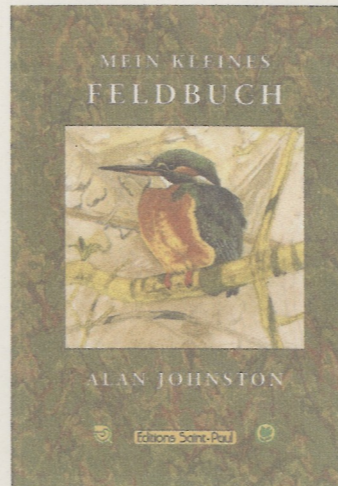
ふるさと応援団木島平会会報

駐日ルクセンブルク大使が訪問

12月11日、駐日ルクセンブルク大使のポール・シュタインメッツ閣下が村を訪れました。今回訪れた目的は、来年度予定している「アーティスト・イン・レジデンス事業」の打合せを兼ねた表敬訪問で、当日は役場の2階で歓迎レセプションが行われました。

木島平村とルクセンブルクは、中学校の姉妹校盟約による子どもたちのホームステイをはじめ、多方面にわたる文化交流を図ってきました。今後とも交流を続けながら国際感覚豊かな人間づくりに寄与できればと考えます。

※アーティスト・イン・レジデンスとは、国際的に活躍する芸術家を招聘し村内で滞在しながら作品の制作や子どもたちとの文化交流を図るもので、来年5月にルクセンブルクで活動している自然画家のアラン・ジョンストン氏が訪れる予定です。この事業は、平成19年に訪れたトウン・ウエン・マルグ氏に続き2回目となります。

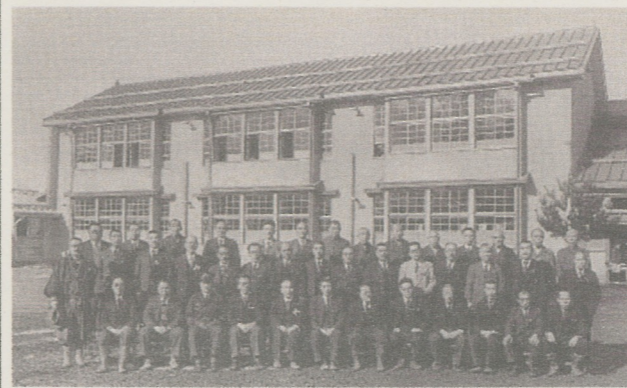


【写真左】アラン・ジョンストン氏の作品集

思い出の小学校（南部小学校）



上木島小学校新築（大正13年）



新校舎完成（昭和25年）



講堂新築（昭和10年）



現 南部小学校

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

山口区 地区のテーマ（将来像）

豊かな自然を子孫に引き継ぐむらじくり

我が山口区は地区づくりのテーマに「豊かな自然を子孫に引継ぐむらじくり」を掲げています。そのテーマ実現のため、集落振興会を中心に育成会も毎年参加し、花壇と畑に花植えを行なっています。5月下旬にカンナ、マリーゴールド、サルビア、百日草を植え、きれいに咲きそろっています。水やりも当番表を作り実施しています。

また、お宮の五十鈴川親水公園の清掃も毎月行っており、7月には蛍が多く見られます。地区の子どもたちがお父さんお母さんと一緒になって見に行く姿をよく見かけるようになりました。

山口区は33戸と小部落ながらも、子どもたちの数は多く、次代を担う子どもたちにこの豊かで美しい自然を守り引き継いでいきたいと思いま



▲区民で花植えや水やりを行う花壇



3保育園でクリスマス会が開催されました

12月11日、村内の3保育園では、祖父母参観を兼ねたクリスマス会が行われました。子どもたちは、今日はサンタさんに会えると朝から楽しみにしていた様で、遊戯室にサンタクロースが現れるとみんな一斉に「サンタさんだ！」と大喜び。その後、一人ひとり名前を呼ばれると、少し緊張した様子でサンタさんからプレゼントを受け取っていました。

村内は、暖冬の影響で未だに全く雪がない状況です。子どもたちも雪が待ち遠しいこの時期、12月25日にはホワイトクリスマスとなるようお願いいたします。



▲最後は、全員で歌って踊って楽しいクリスマス会となりました。